

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	鶴見川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域 (令和4年2月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域 (令和4年2月現在)

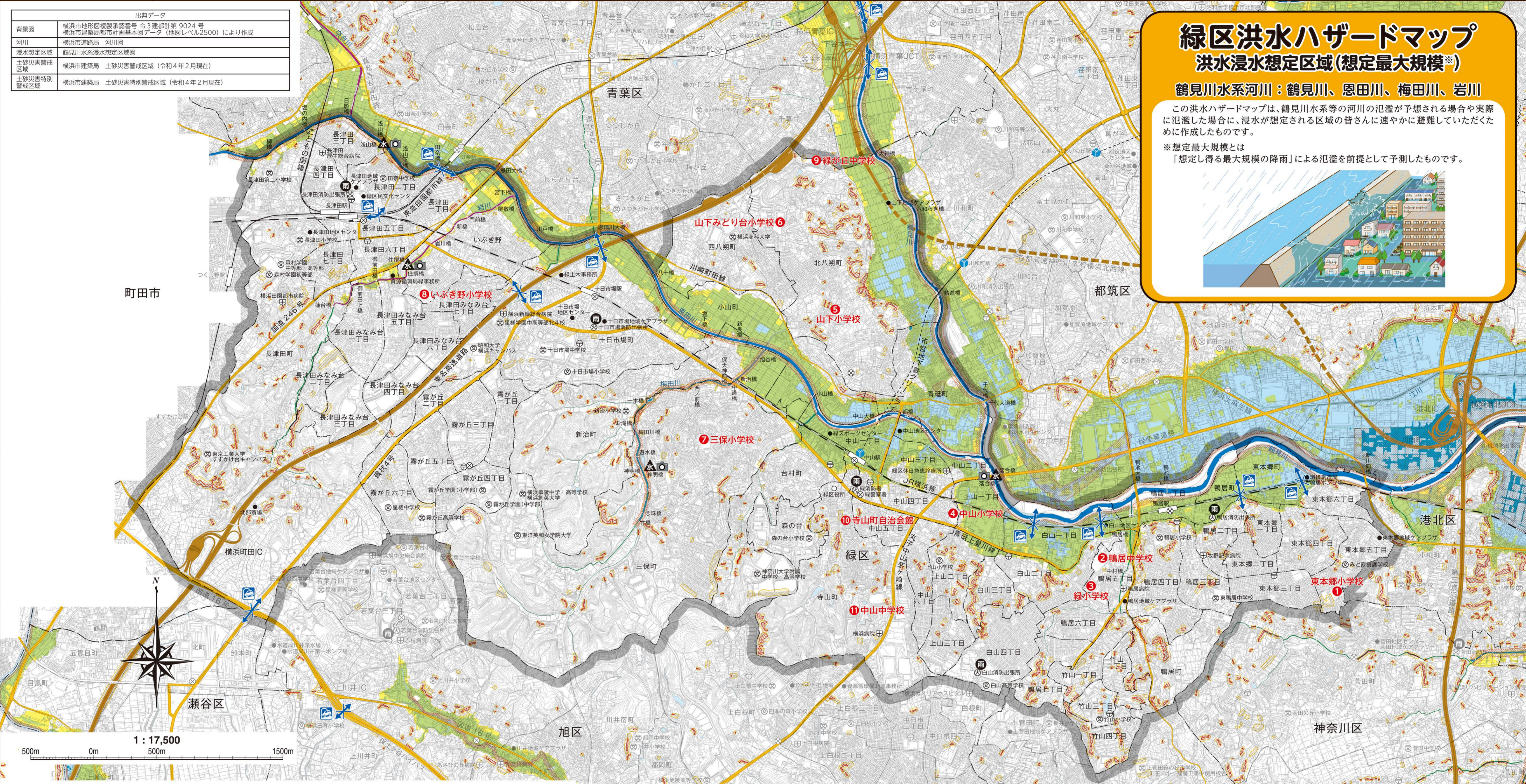
緑区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

鶴見川水系河川：鶴見川、恩田川、梅田川、岩川

この洪水ハザードマップは、鶴見川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

10.0~20.0m未満 ※緑区以内は、該当エリアはございません。
5.0~10.0m未満
3.0~5.0m未満 2階部分まで浸する深さ
0.5~3.0m未満 1階天井をこえて浸する深さ
0.0~0.5m未満 おとなの膝まで浸かる深さ

--- 郡界	--- 高速道路・有料道路
--- 市区界	--- 主要道路
--- 町丁目界	● 避難場所
--- J R線・駅	● 雨量観測所
--- 私鉄線・駅	▲ 水位観測所
--- 市営地下鉄線・駅	📷 河川監視カメラ

◎避難する際に注意する箇所

家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壊等に伴う冠水や河岸侵食により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での避難ではなく、早期の立ち避難が必要となる区域。※家屋の構造、強度特性や避難対策の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある箇所 (進入すると危険なため、冠水時は通行は控えてください。)
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に被害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい被害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
一級河川 (国土交通省管理区域) 浸水想定区域作成対象河川 (鶴見川、矢上川、早瀬川、島山川)	河川法適用河川 (横浜市管理)
一級河川 (神奈川県管理指定区域) 浸水想定区域作成対象河川 (鶴見川、早瀬川、大瀬川、恩田川)	その他の河川 (横浜市管理) ※市街化区域のみ
一級河川 (横浜市管理区域) 浸水想定区域作成対象河川 (島山川、砂田川、梅田川)	

風水害時における避難場所について

◇災害時には、下記の避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、緑区では避難場所として、下記に示した施設を優先して開設します。

条件等	No.	避難場所	住所	位置	No.	避難場所	住所	位置
洪水などが予想される場合の避難場所	①	東本郷小学校	東本郷5-40-1	I-4	②	山下みどり台小学校	北八朔町2031-3	F-2
	②	鶴居中学校	鶴居5-12-35	H-4	③	三保小学校	三保町1867	E-3
	③	緑小学校	鶴居5-19-1	H-4	④	いぶき野小学校	いぶき野14-1	C-2
	④	中山小学校	中山4-16-1	G-4	⑤	緑が丘中学校	青葉区千寿台50-1	F-2
	⑤	山下小学校	北八朔町1865-3	F-3	⑥	寺山町自治会館	寺山町177	F-4
緑区北部に土砂災害警戒区域が発令された場合に開設される避難場所	⑦	寺山町自治会館	寺山町177	F-4	⑧	中山中学校	寺山町653-21	F-5

※⑥が混雑した場合に開設します

●想定条件●
鶴見川水系：2日間で792mmの降雨

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(2日間で792ミリ)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。^{※2}

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります、実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 国土交通省関東地方整備局浜河川事務所ホームページ
(https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html)

※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)